

RTC-I116-JP 取扱説明書

目次

第 1 章 本書について	1
1-1. 紹介	2
1-2. 注意事項と安全対策	2
1-3. リサイクルおよび廃棄に関する指示	2
1-4. 規制情報	2
第 2 章 製品の概要	3
2-1. RTC-I116-JP	4
2-2. 外観ビュー	5
2-2-1. 前面コンポーネント	5
2-2-2. 底部コンポーネント	6
2-2-3. 背面コンポーネント	6
2-2-4. 上部コンポーネント	7
2-2-5. 側面コンポーネント	7
2-3. 製品仕様	8
第 3 章 機能の使用	10
3-1. 電源管理	11
3-1-1. 起動方法	11
3-1-2. LED ステータス	12
3-1-3. 電源とスリープの設定	12
3-1-4. シャットダウン	16
3-2. 無線 LAN 設定	17
3-2-1. 無線 LAN 接続	17
3-3. Bluetooth	18
3-3-1. Bluetooth をオン	18
3-4. 4G/LTE 通信	23
3-4-1. SIM カードのインストール	23
3-4-2. APN の手動設定	25
3-4-3. 注意事項	26
第 4 章 アクセサリーと電源	27
4-1. 梱包の確認	28
4-2. 電源接続	29
第 5 章 バッテリーの説明と接続	30

5-1. AC アダプタ.....	31
5-2. バッテリーパック.....	31
5-2-1. バッテリーの充電.....	31
5-2-2. バッテリーパックの交換	31
第 6 章 製品のメンテナンス	34
6-1. タブレットの保護.....	35
6-2. 正しくお使いいただくために	35
6-2-1. 環境基準	35
6-2-2. 一般基準.....	35
6-2-3. 清掃基準.....	35
6-2-4. バッテリー基準	35
6-2-5. タッチスクリーン基準.....	36
第 7 章 故障と保証.....	37
7-1. 故障	38
7-2. 保証およびアフターサービス	38
7-2-1. 保証期限	38
7-2-2. 保証範囲.....	38
7-2-3. 修理	38

第 1 章 本書について



1-1. 紹介

本書は産業用堅牢タブレット RTC-I116-JP の取扱説明書です。主に、製品の適用環境の紹介、外観説明、製品特性、技術パラメータ、一般的な機能設定、機器の設置、注意事項が記載されており、アフターサービスに関する一般的な内容も記載しております。RTC-I116-JP を最適に使用するために、本取扱説明書をご精読ください。

1-2. 注意事項と安全対策

- RTC-I116-JP をご使用になる前に、必ずタブレットの取扱説明書(本書)をご精読の上、指示にお従いください。
- 液晶画面に過度な圧力や衝撃を加えないでください。さもないと、液晶パネルが破損し、負傷の原因となることがあります。液晶パネルが破損して液漏れした場合、中の液体には触れないでください。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹼で水洗いしてください。失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
- 端末には必ず純正の標準 AC アダプタを使用してください。基準を満たしていない AC アダプタを使用すると、電氣的な問題を引き起こし、火災や電気障害を発生させる可能性があります。
- 端末を絶対に分解しないでください。端末またはアクセサリが誤操作か、または無許可の修理により損傷した場合、保証は無効となります。また、保証シールが損傷した場合も、保証は無効となります。メンテナンスが必要になった場合はご購入元にご相談してください。
- すべての重要なデータは定期的にバックアップしてください。
- いかなる場合においても、サプライヤーはハードウェアおよびソフトウェアの使用または使用不能から生じる直接的、間接的、結果的または付随的な損害および/またはデータの損失について責任を負わないものとし、たとえそのような損害の可能性についてサプライヤーに通知されていた場合でも同様とします。

1-3. リサイクルおよび廃棄に関する指示



このロゴの付いた製品を廃棄したり、ゴミとして捨てたりしないでください。

1-4. 規制情報



CE、FCC、RoHS などの要件を満たす文書が必要な場合は、ご購入元のお問い合わせ窓口にご相談ください。

第 2 章 製品の概要



2-1. RTC-I116-JP

ご購入ありがとうございます。

RTC-I116 は、Darveen 社が軍用および三防(防水、防塵、防衝撃)産業向けに開発した 11.6 インチの三防強化型タブレットです。この製品は、第 12 世代 Intel Core i7/i5 の高性能プロセッサを搭載し、基本クロック 1.3GHz、最大 4.4GHz の高いパフォーマンスを発揮します。Windows オペレーティングシステムがプリインストールされており、モバイル環境で Microsoft Windows のデータ処理能力を十分に活用できます。また、アプリケーションとネットワーク管理能力を最適化し、マルチタスクアプリケーションの柔軟性を維持します。

RTC-I116 は、産業用規格の高輝度静電容量式タッチスクリーンを採用し、IP66 の保護等級、1.22m の耐落下性能を備えています。また、4G LTE、WiFi、Bluetooth、GPS などのさまざまな無線通信方式に対応しています。さらに、超長寿命の内蔵型大容量デュアルリチウムバッテリーを搭載しており、バッテリーは脱着可能です。オプションモジュールとして、1D/2D バーコードスキャン、NFC、第二世代 ID カードなどもサポートしています。

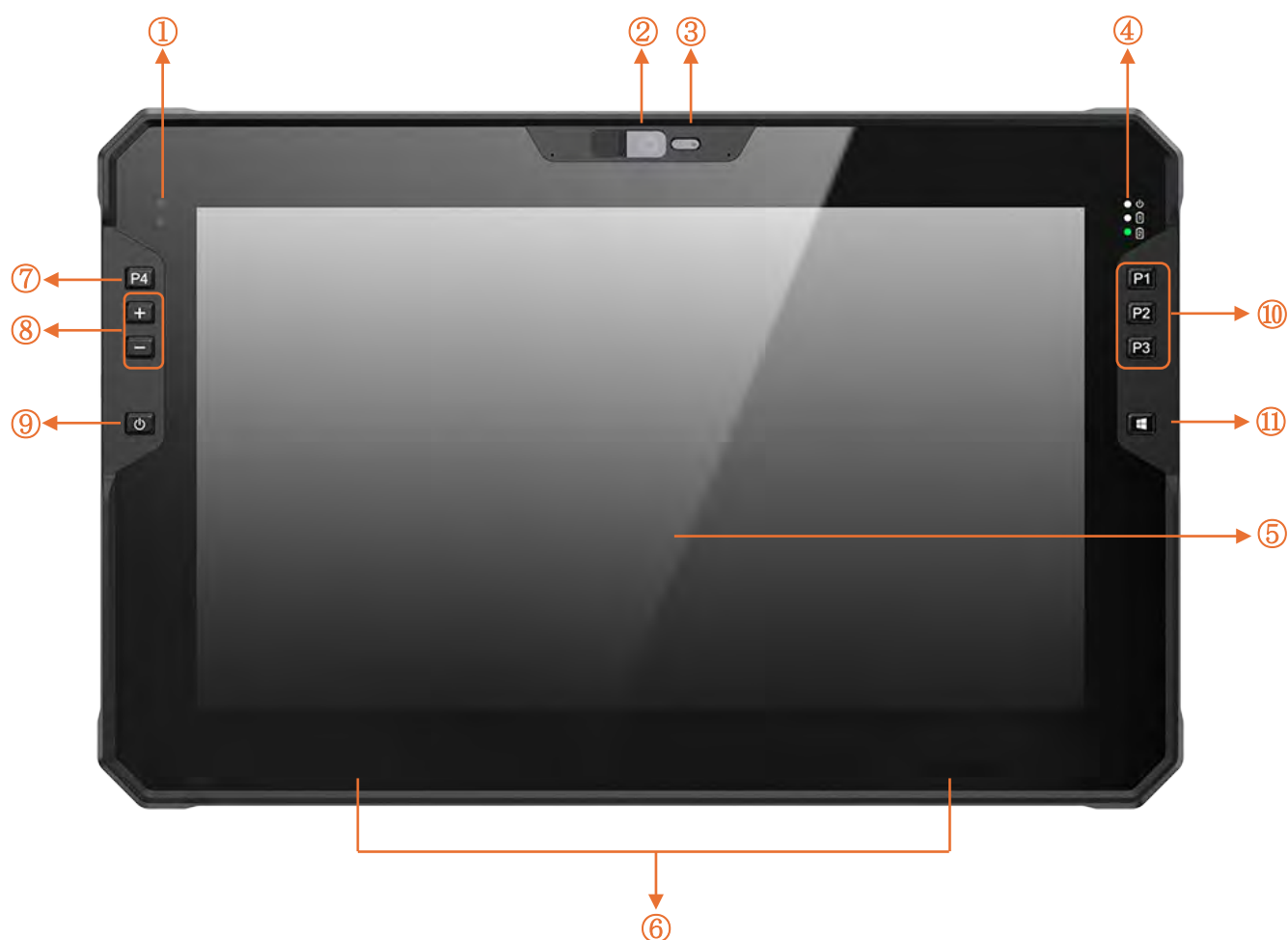
このタブレットは、業務効率の向上と高い信頼性を提供する、優れた選択肢です。

RTC-I116 の主な特徴

- 第 12 世代 Intel Core i7/i5 高性能プロセッサ搭載:基本クロック:1.3GHz、最大ターボ周波数:4.4GHz
- 11.6 インチ 高輝度 1000cd/m² 静電容量式タッチスクリーン
- IP66 保護等級、1.22m の耐落下性能
- 多様な無線通信モード対応:4G LTE、WiFi、Bluetooth、GPS などをサポート
- 長寿命バッテリー:大容量デュアルリチウムバッテリー内蔵、脱着可能なバッテリー
- オプションモジュール:1D/2D バーコードスキャン、NFC、第二世代 ID カード

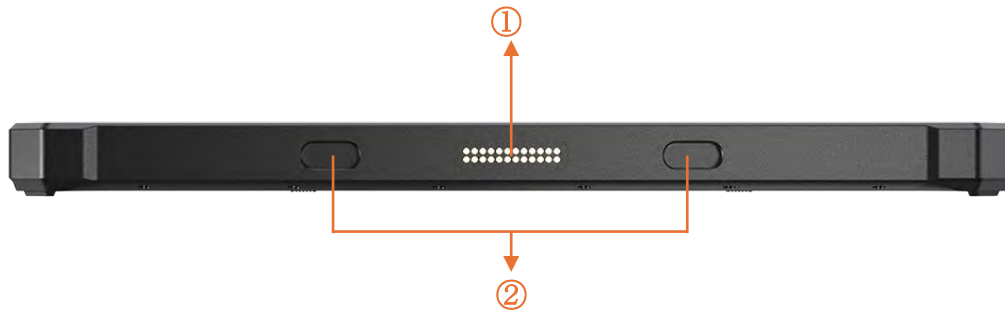
2-2. 外観ビュー

2-2-1. 前面コンポーネント



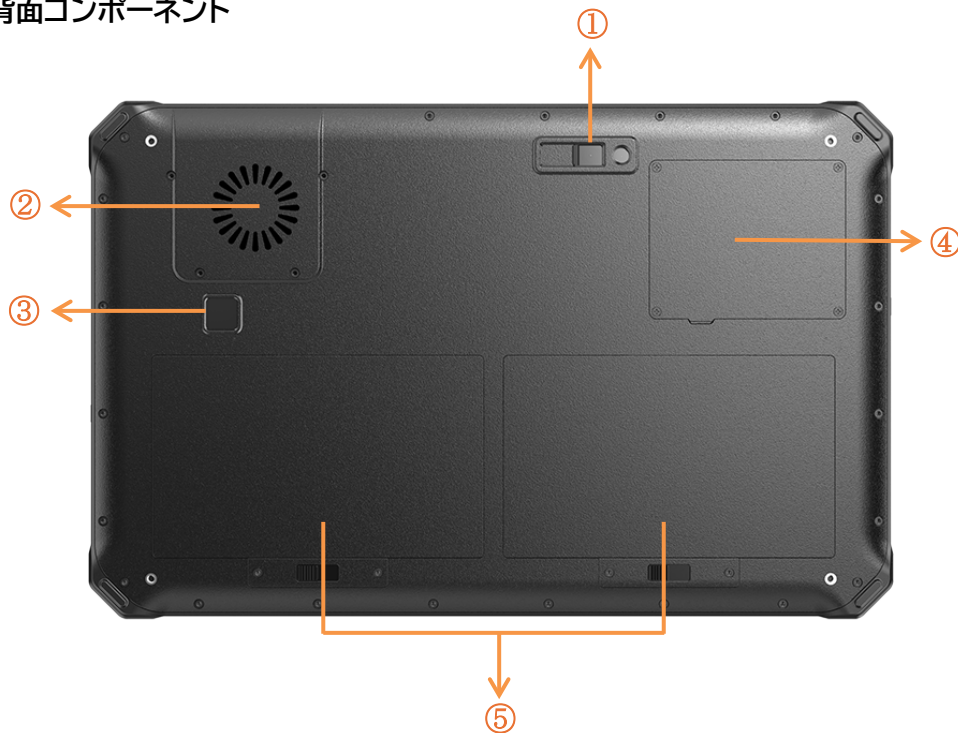
No	項 目	説 明
①	周囲光センサ	現在の環境の可視光の明るさを検出します
②	フロントカメラ	写真撮影やビデオ通話に使用します
③	フロントカメラ状態表示器	フロントカメラが動作しているかどうかを表示します
④	電源、バッテリー表示器	電源オン/オフ状態やバッテリーの充電と残量状態を表示します
⑤	タッチスクリーン	表示と指で操作できます
⑥	ステレオスピーカ	メディアのサウンドを出します
⑦	カスタムキー（P4）	デフォルトのクイックコードスキャン機能
⑧	音量「+」、「-」	スピーカやヘッドフォンなどのオーディオ音量を調整します
⑨	電源スイッチ	オン/オフ、スリープ、休止状態などの電源管理に使用します
⑩	カスタムキー（P1～P3）	P1はデフォルトでコードをスキャンするためのショートカットキーです。P2 と P3 は無効です
⑪	Windows キー	スタートメニューの呼び出しやデスクトップへのクイックリターンなどのクイックアクション

2-2-2. 底部コンポーネント



No	項 目	説 明
①	ポゴピン	ドックの拡張機能と接続します
②	ポゴピンガイド	ドックの接続位置を決めます

2-2-3. 背面コンポーネント



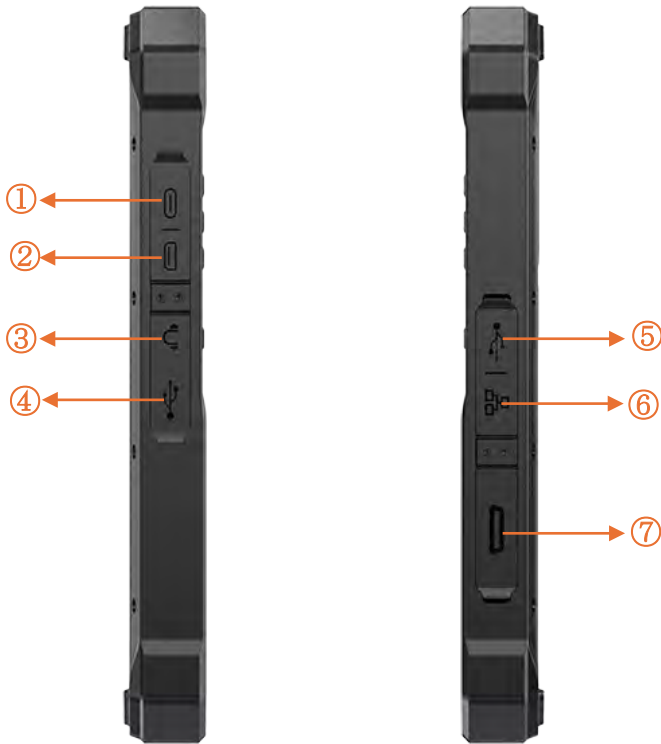
No	項 目	説 明
①	リアカメラ	写真撮影に使用します
②	ファン	冷却用ファン吸気口
③	指紋認証センサ	Windows Hello 画面ロック解除で使用します
④	機能拡張ユニット部蓋	SSD、NFC、ID カードなどのオプション機能を取付します
⑤	バッテリー部蓋	58Wh デュアルバッテリー、ホットスワップ交換可能

2-2-4. 上部コンポーネント



No	項 目	説 明
①	二次元コードスキャナ窓	QR コードなど読取に使用します(オプション)
②	セキュリティキーホール	Kensington セキュリティスロットを装着します
③	排気口	CPU の熱を排気します

2-2-5. 側面コンポーネント



No	項 目	説 明
①	USB ポート	USB Type-C 充電、OTG 接続
②	ミニ HDMI ポート	HD ビデオ出力
③	3.5mm ヘッドホンジャック	ヘッドセット+マイク 4極
④	USB ポート	USB 3.0 Type-A コネクタ
⑤	USB ポート	USB 3.0 Type-A コネクタ
⑥	RJ-45 ポート	ギガビット イーサネットコネクタ
⑦	シリアルポート	拡張機能用(オプション)

2-3. 製品仕様

RTC-I116-JP-JP の仕様は以下の通りです。仕様は予告なく変更する場合がございます。

基本性能	外形寸法	315×203×20 mm (12.40× 7.99×0.79 inch)
	質量	1,580g
	ケースカラー	黒色
	ディスプレイ	11.6インチ、16:9液晶IPSスクリーン、輝度 1000nits、解像度 1920 × 1080 ピクセル
	タッチスクリーン	10 タッチ静電容量式タッチスクリーン、G+G、液晶ガラス、硬度 7H
	カメラ	前面:5MP プライムフォーカスカメラ 背面:12MP オートフォーカスカメラ
	内蔵スピーカ	8Ω/2W ステレオスピーカ
	バッテリー	脱着式デュアルリチウムポリマ充電電池、7.7V、3800mAh、58Whr
	稼働時間	約 6 時間
システム	CPU	第 12 世代 Intel Core i5-1235U プロセッサ、10 コア、12 スレッド、組込 12MB スマートキャッシュ、ベース周波数 1.3GHz、コア周波数 4.4GHz 第 12 世代 Intel Core i7-1255U プロセッサ、10 コア、12 スレッド、組込 12MB スマートキャッシュ、ベース周波数 1.7GHz、コア周波数 4.7GHz
	GPU	Intel Iris Xe Graphics eligible
	メモリ	16GB DDR5 (最大 32GB)
	ストレージ	256GB M.2 NVME PCIe SSD (最大 1TB)
	センサ	加速度、照度、ジャイロ
ネットワーク	無線 LAN	Wi-Fi 6E (802.11ax) 2.4, 5, 6 GHz (160MHz)
	Bluetooth	Bluetooth 5.3 (BLE) 48Mbit/s 通信距離約 300m
	WWAN (4G)	WCDMA:B1/B6/B8/B19 LTE-FDD:B1/B3/B8/B18/B19/B26 LTE-TDD:B41
	GPS	GPS / GLONASS / BeiDou / QZSS
ソフトウェア	OS	Windows 10 IoT Enterprise LTSC 2021 Windows 11 IoT Enterprise LTSC 2024 Windows 11 Pro
データ収集	NFC	13.56MHz, ISO/IEC 14443A/14443B/15693/18092/mfare
	指紋認証	Windows Hello 認証 (FBI/ISO/GA Certification)
オプション	二次元スキャナ	解像度 0.127mm、スキャン速度 50f/s
	ID カード	第二世代 ID カードモジュール
I/O インターフェイス	SIM カードスロット	ナノ SIM
	USB Type-C	充電、OTG
	USB Type-A	USB 3.0 2 口
	ヘッドホンジャック	標準 3.5mm 4極
	HDMI	ミニ HDMI
	イーサネット	RJ45 10/100/1000 Mbit
	ポゴピン	底部 24 ピン(充電ポート、USB シリアル接続)

ボタン、表示器	ファンクションキー	ファンクションキー4 個(P1,P2,P3,P4)
	電源	電源ボタン
	音量	音量大(+)、音量小(-)
	パイロットランプ	充電、バッテリー 2 個、前面カメラ状態
動作環境	落下試験	1.2m 高さから木床へ自然落下
	保護等級	IP66
	動作温度	-20℃～60℃(-4℥～140℥)
	保存温度	-30℃～70℃(-22℥～158℥)
	湿度	95%/40℃ 非結露

第 3 章 機能の使用



本章は、Windows 11 OS の画面で説明しています。

3-1. 電源管理

3-1-1. 起動方法

1. 電源ボタン  を押して RTC-I116-JP を起動します。RTC-I116-JP が起動しない場合は、電源供給が正常であるか確認して再度試してください。

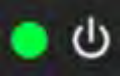
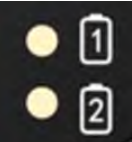


2. RTC-I116-JP の電源が入ると、オペレーティングシステムが起動した後に、画面に Windows のスタートアップロゴが短時間表示され、Windows デスクトップが表示されます。



3-1-2. LED ステータス

電源ボタンを押すと電源表示の緑色 LED が点灯します。

アイコン	項目	説明
	電源	システムが起動すると、緑色の LED 電源ライトが点灯します。システムがオフまたは休止状態になると、LED 電源ライトは消灯します。スリープ中は、LED 電源ライトが点滅します。
	バッテリー 1	バッテリー インジケータの状態: 点灯: バッテリーが充電中 消灯: 充電されていないか、バッテリーが完全に充電されています 点滅: バッテリーが 10% 未満の場合、充電メッセージが表示されます
	バッテリー 2	

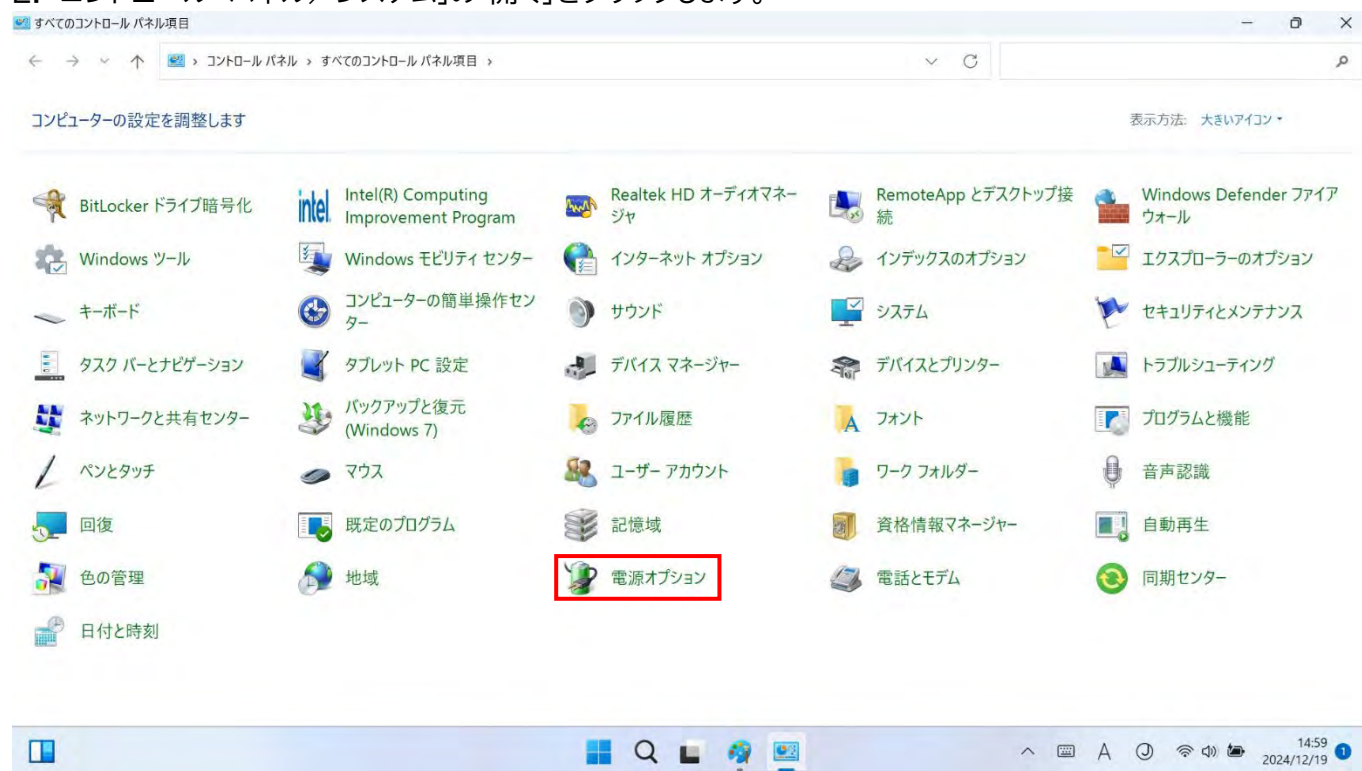
3-1-3. 電源とスリープの設定

1. デスクトップのタスクバーの「検索」に「コントロールパネル」と入力します。

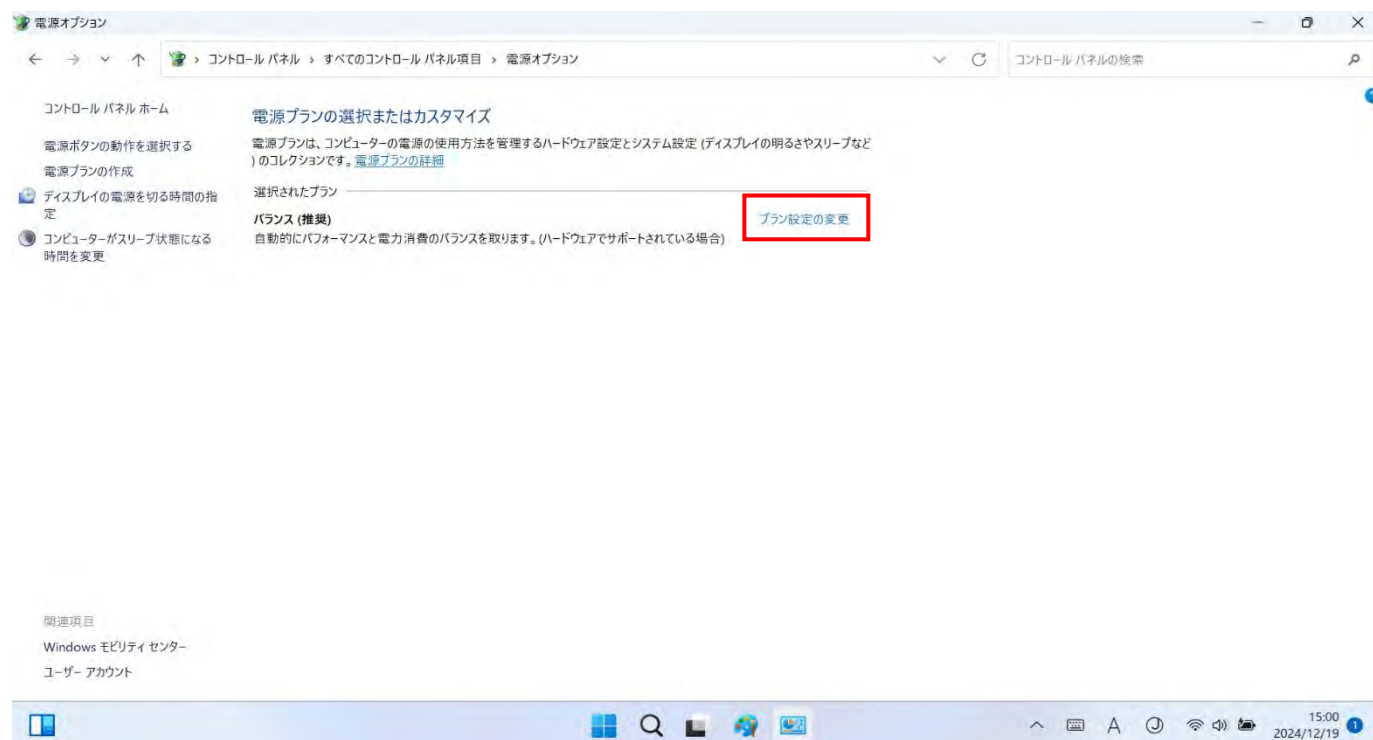


RTC-I116-JP 取扱説明書

2. 「コントロール パネル／システム」の「開く」をクリックします。



3. 「電源オプション」をクリックします。

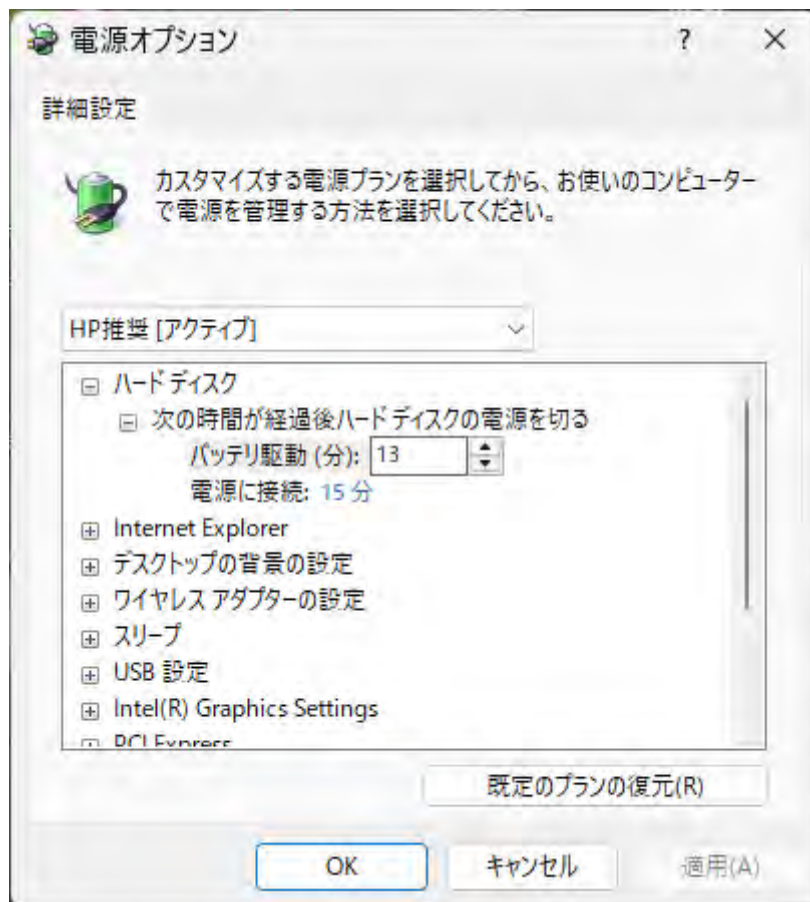


4. 「プラン設定の変更」をクリックします。



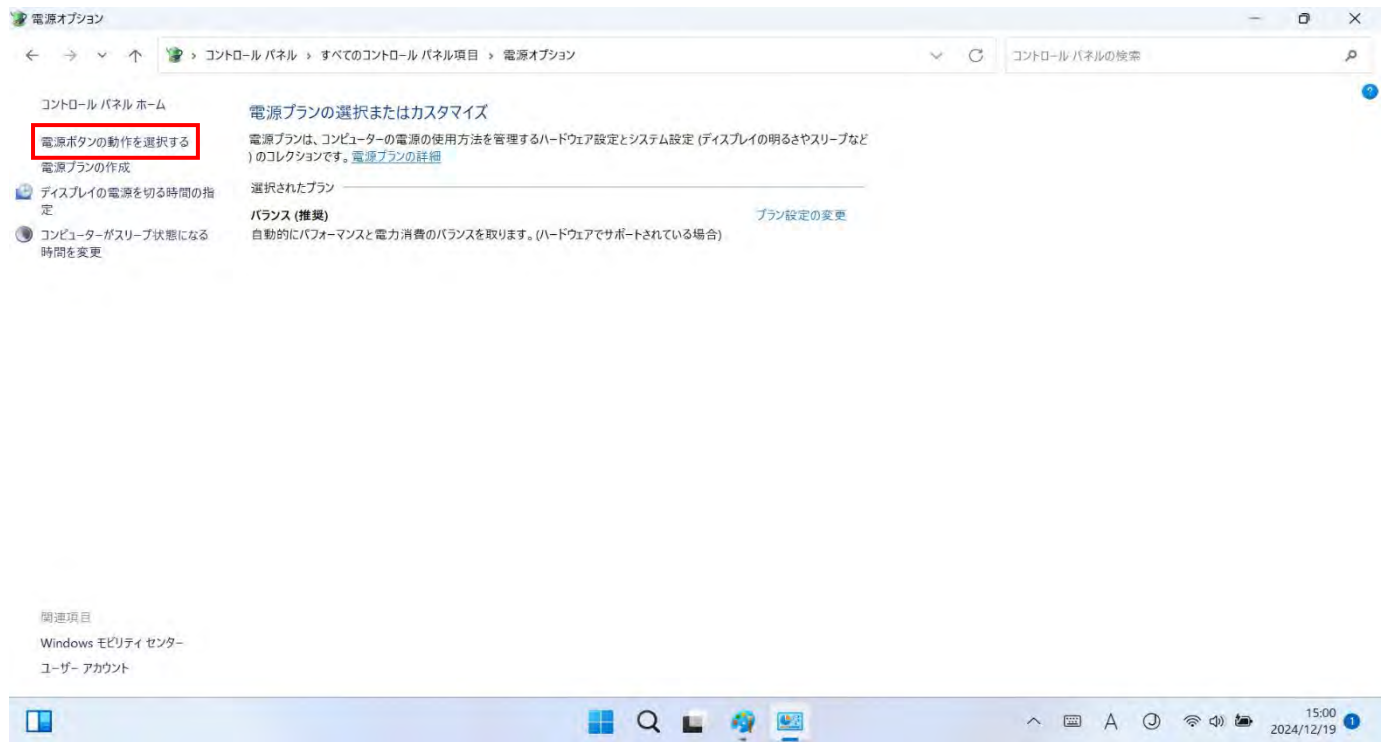
5. 「ディスプレイの電源を切る」と「コンピュータをスリープ状態にする」各時間を設定します。

6. 「詳細な電源設定の変更(C)」をクリックします。



7. ハードディスクの時間を「なし」に設定
 USB 設定のサスペンドの設定を「無効」に設定
 あるいは「既定のプランの復元(R)」値を推奨します。

RTC-I116-JP 取扱説明書



8. 「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。



9. 電源ボタンの動作をリストより選択します。(何もしない、スリープ状態、休止状態、シャットダウン、ディスプレイの電源を切る)

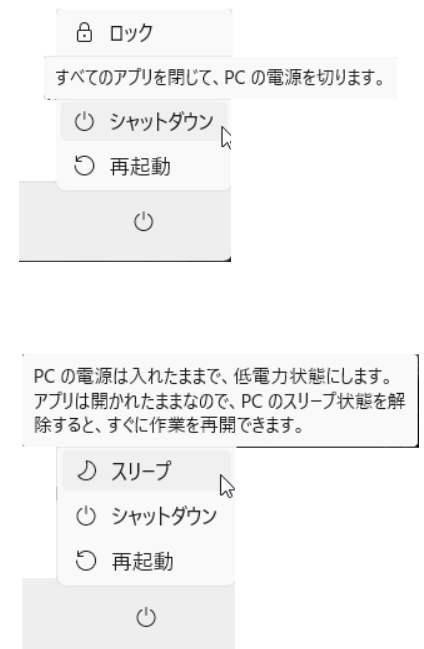
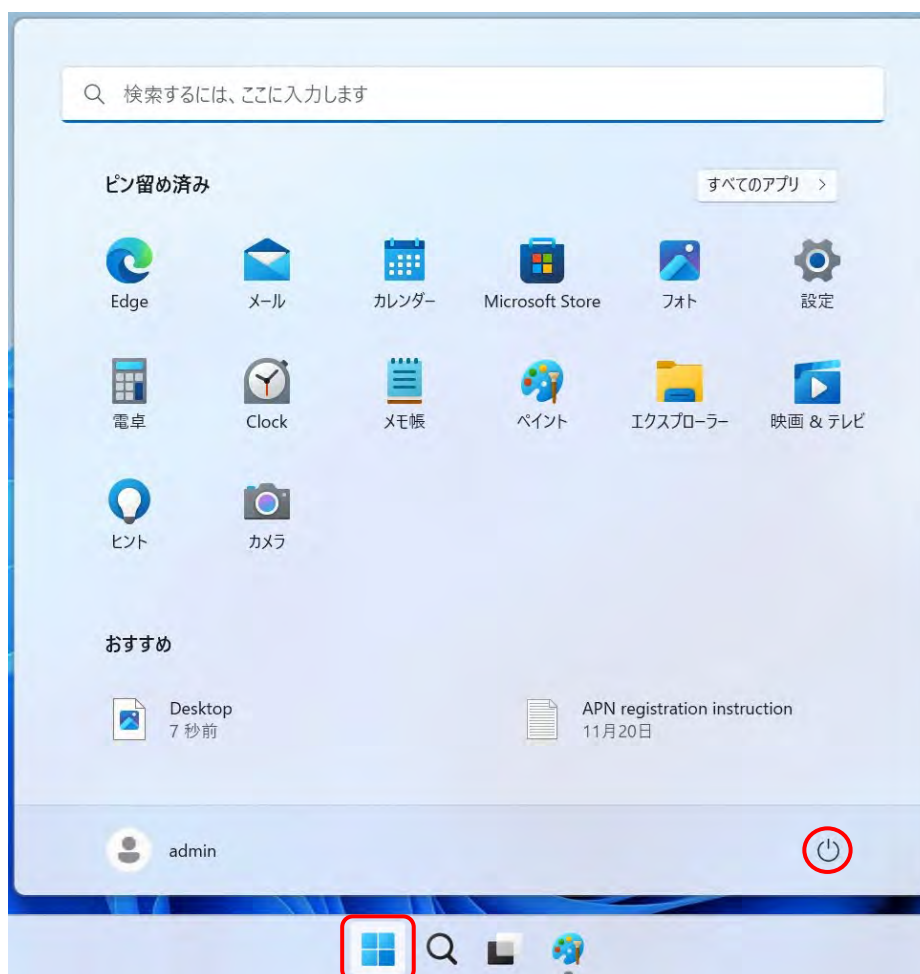
※初期値は、「スリープ状態」です。

3-1-4. シャットダウン

終了したら、電源をオフにするか、タブレットをスリープ状態または休止状態にすることができます。

1	電源 OFF	デスクトップのタスクバー中央の Windows アイコンをクリックして電源アイコンをクリックして「シャットダウン」をクリックします。	電源
2	スリープ	デスクトップのタスクバー中央の Windows アイコンをクリックして電源アイコンをクリックして「スリープ」をクリックします。	電源
3	起動	黒画面状態で電源ボタンを短時間押すか、画面をタッチします。	
4	休止	初期値では、「休止」設定はありません。電源オプション設定で「休止」を選択する必要があります。	

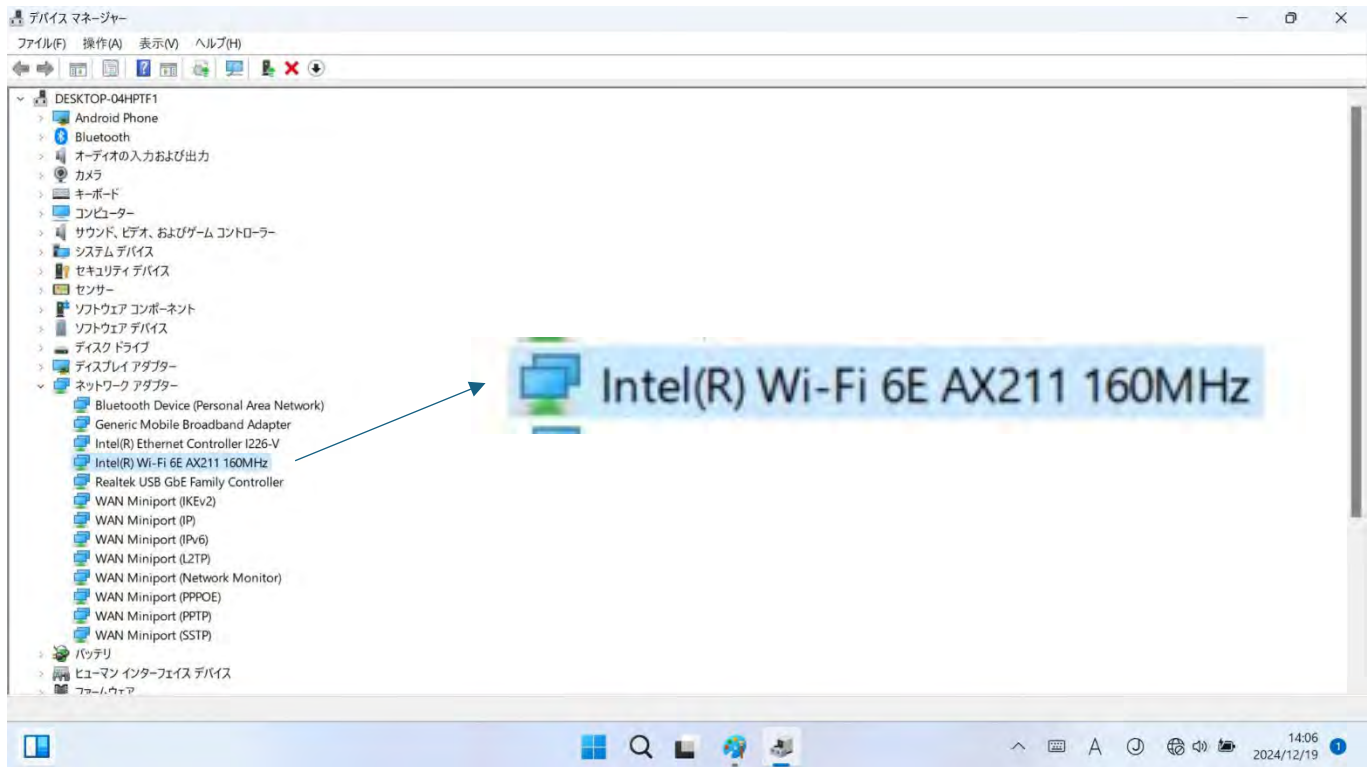
※「スリープ」は電源ボタンのデフォルトの機能です。上記の電源管理ポリシー設定を通じて、電源キーの結果を変更できます。



3-2. 無線 LAN 設定

3-2-1. 無線 LAN 接続

1. デバイス マネージャーまたはプログラムと機能を参照して、ワイヤレス ネットワーク カード
「Intel®Wi-Fi 6E AX211 160MHz)などのワイヤレス モジュールのドライバーがインストールされていることを確認します。



2. アクセスポイントを検索します。

- 1) デスクトップのタスクバーのネットワークアイコンをクリックして無線 LAN が「使用可能」状態を確認します。
- 2) 無線 LAN アイコンの右マークをクリックしてアクセスポイント一覧を表示します。



- 3)無線 LAN アイコンの右マークをクリックしてアクセスポイント一覧を表示します。
- 4)接続するアクセスポイントをクリックして「自動的に接続」にチェックを入れます。
- 5)「接続」をクリックします。
- 6)「ネットワークセキュリティキーの入力」を行い「次へ」をクリックします。
- 7)「接続済み、セキュリティ保護あり」を表示して無線 LAN に接続完了したので、インターネットへ接続可能です。



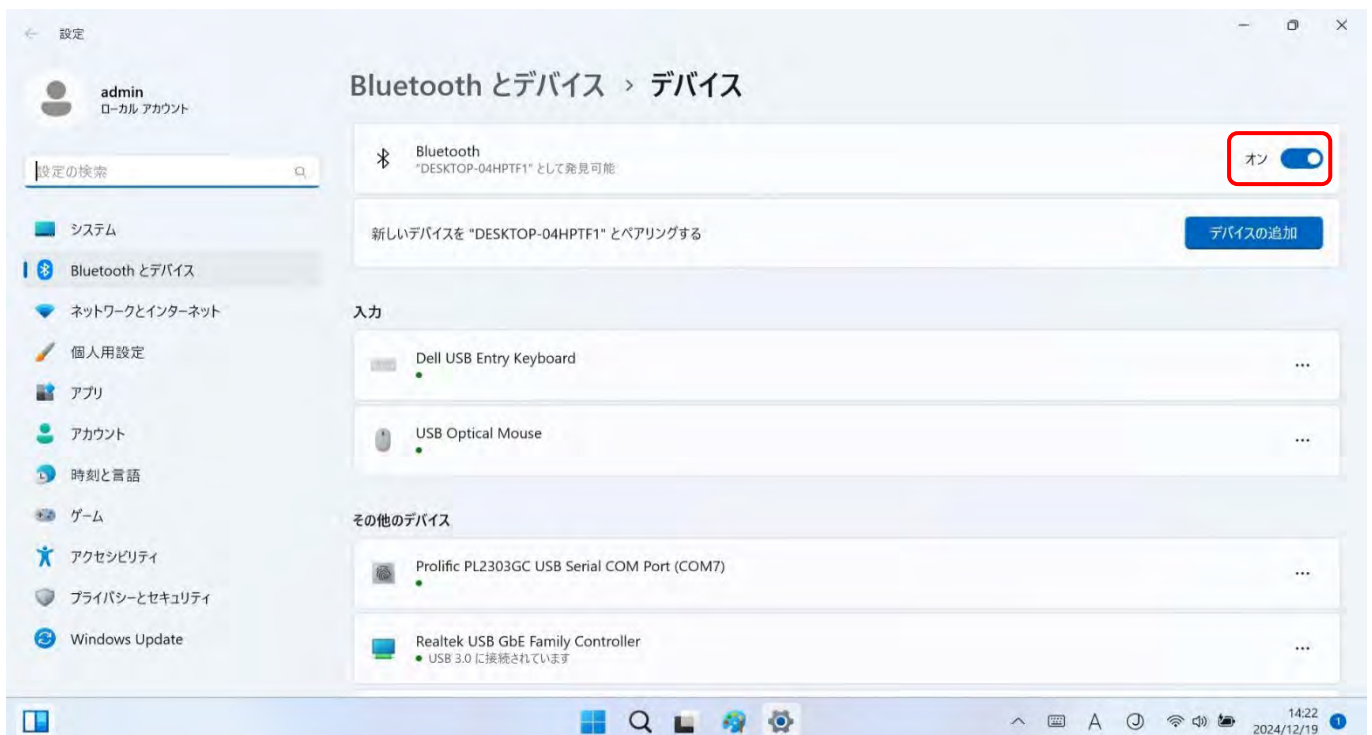
3-3. Bluetooth

3-3-1. Bluetooth をオン

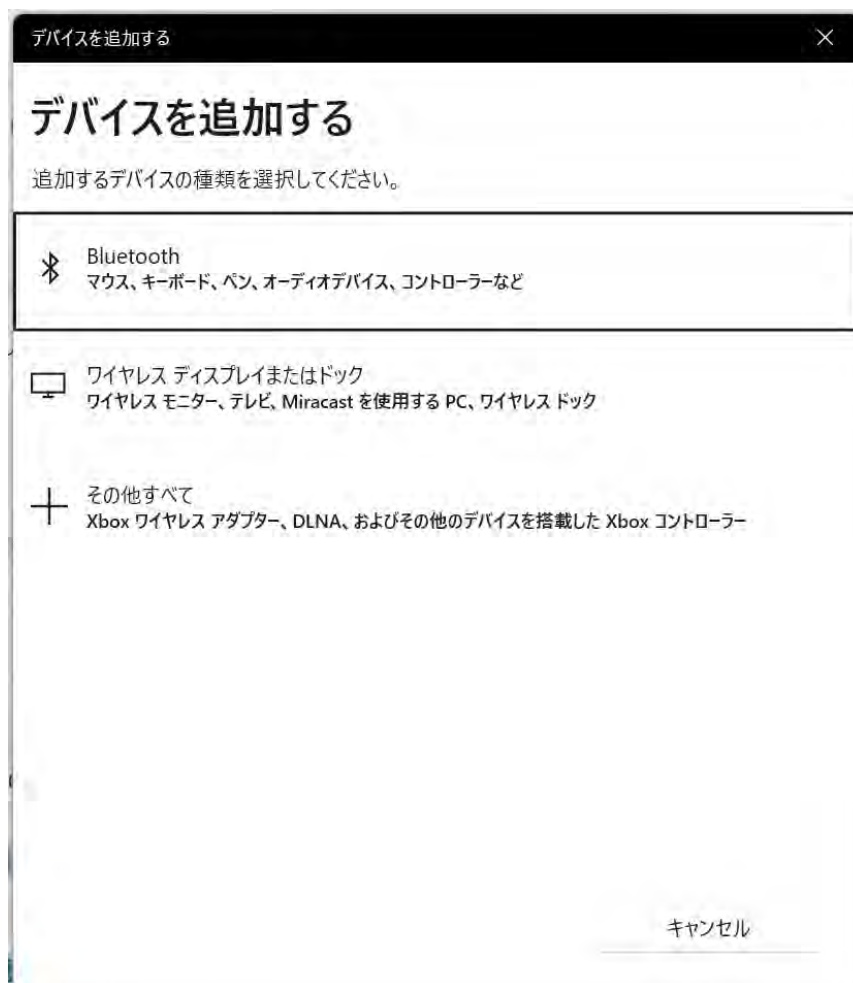
1. デスクトップのタスクバーの上矢印(隠れているインジケーターを表示します)をクリックして Bluetooth アイコンをダブルクリックします。
あるいは、Windows の設定画面の左側「Bluetooth とデバイス」をクリックして「デバイス」をクリックします。



2. 「Bluetooth」欄のスライドスイッチを「オン」にします。



3. 「新しいデバイスを “DESKTOP-04HPTF1” とペアリングする」欄の「デバイスの追加」をクリックします。



4. 「Bluetooth／マウス、キーボード、ペン、オーディオデバイス、コントローラなど」をクリックします。



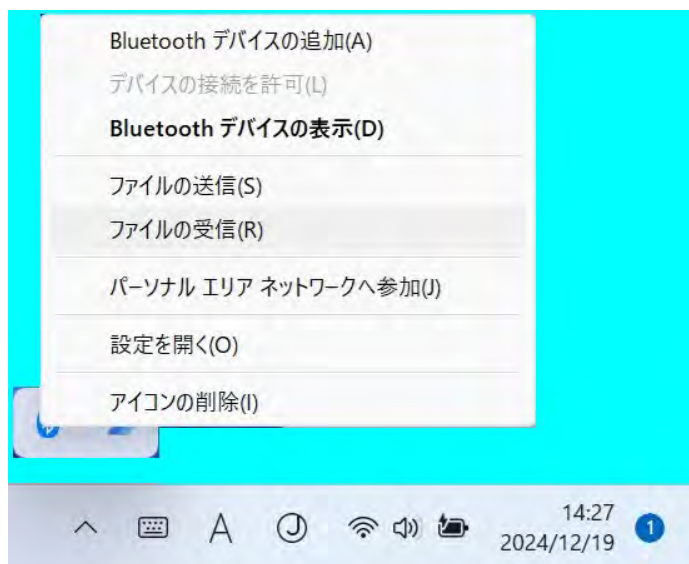
5. 接続するデバイスの名前をクリックすると、一致する PIN が表示されます。RTC-I116 とデバイスのパスワードが同じであることを確認します。これにより、デバイスを近くの別のコンピュータではなく正しいマシンに接続していることを確認して「接続」をクリックします。

RTC-I116 と接続するマシンでも接続確認コードを確認して接続する必要があります。
例としてスマホ「Xperia 5 IV」とペアリングします。



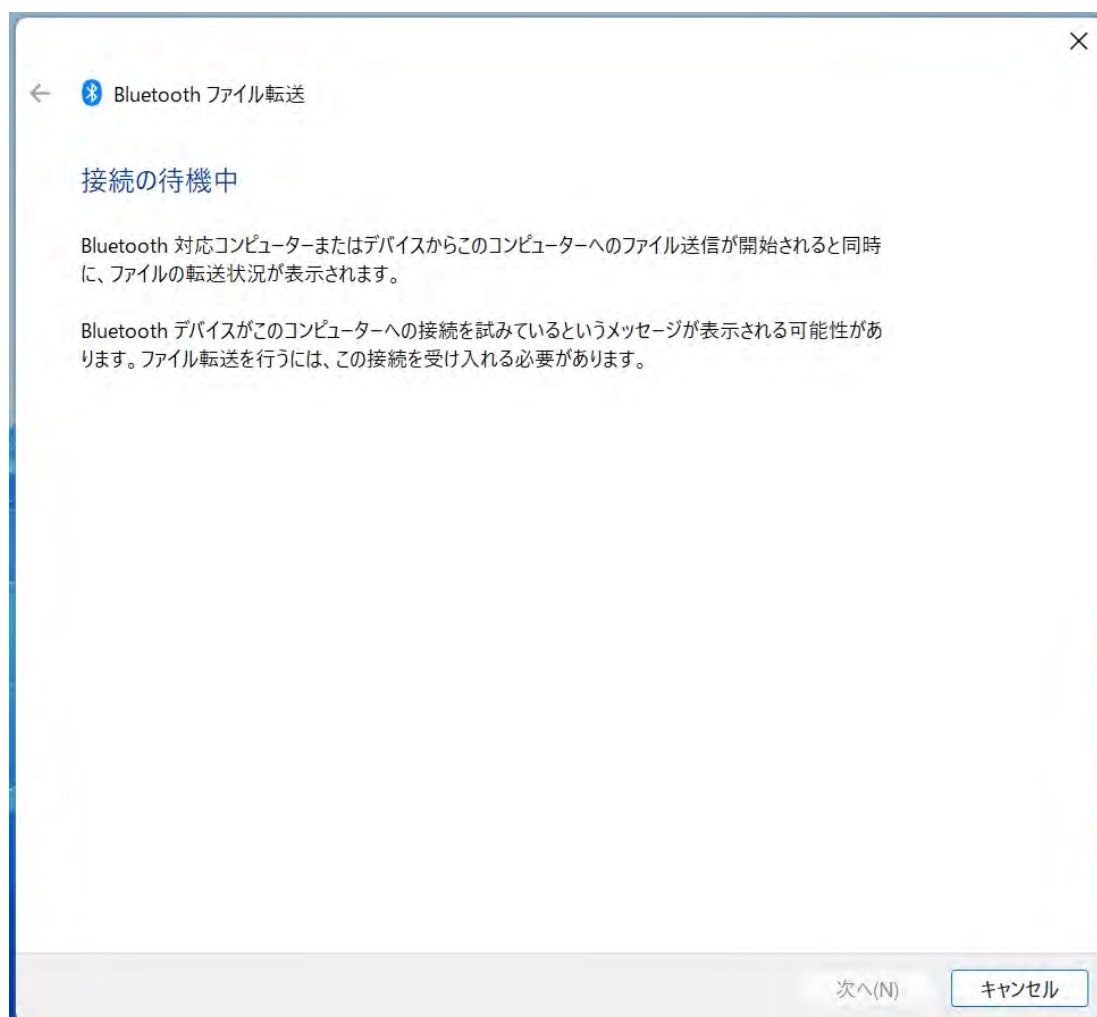
6. ファイル受信

送信側デバイスよりファイルを送る前に RTC-I116-JP をファイル受信に設定します。



Bluetooth アイコンをクリックして表示するメニューから「ファイル受信」をクリックします。

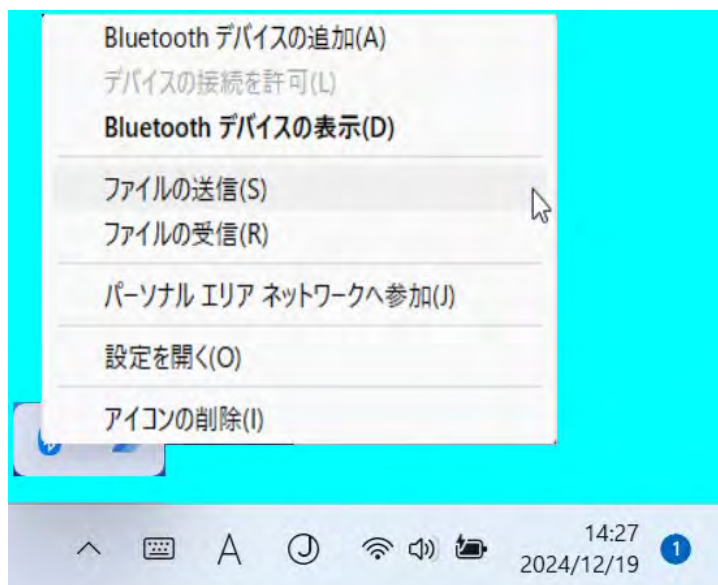
7. 「接続の待機中」が表示されたら送信側デバイスからファイルを送信します。



※指定のフォルダへファイルが自動で保存されます。

8. ファイルの送信

受信側デバイスをファイル受信状態へ設定してからファイル送信をクリックします。



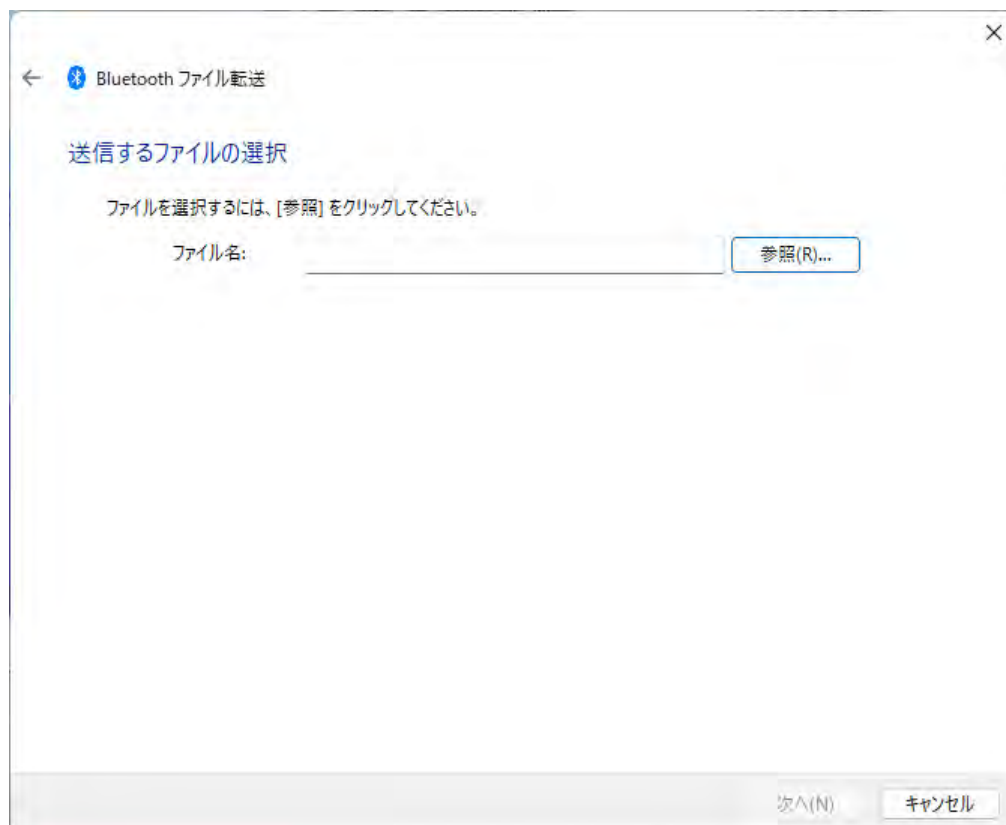
Bluetooth アイコンをクリックして表示するメニューから「ファイル送信」をクリックします。

9. ファイルの送信先を選択します。
(「Xperia 5 IV/電話」を選択します。)



「次へ(N)」をクリックして確定します。

10. 送信するファイルを選択します。



※受信側デバイスでファイル受信を承諾すると自動でファイルの送信を開始します。



11)「完了(F)」ボタンをクリックして終了します。

3-4. 4G/LTE 通信

3-4-1. SIM カードのインストール

1. バッテリーの 2 番目のラッチを解除位置()で押すと、バッテリーが自動的に跳ね上がり、バッテリーを取り外します。

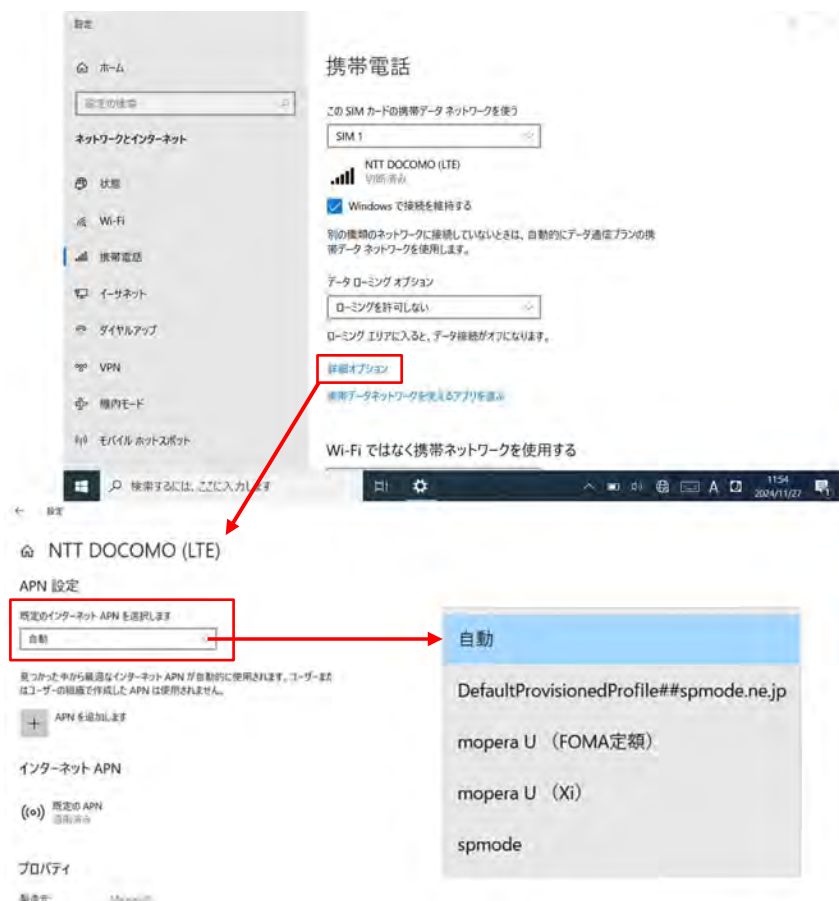


2. ナノ SIM カードを RTC-I116 に挿入します。SIM カードスロットは下記の位置です。



3. 取り外したバッテリーを正しく装着します。ラッチは自動で固定されます。

4. SIM カードのインストール後、ネットワーク接続が正常に機能すれば、インストールは完了です。通信できない場合は、Windows の設定の「ネットワークと設定」-「携帯電話」で SIM カードのキャリアに対応する APN を選択するか、APN 設定を手動で入力する必要があります。

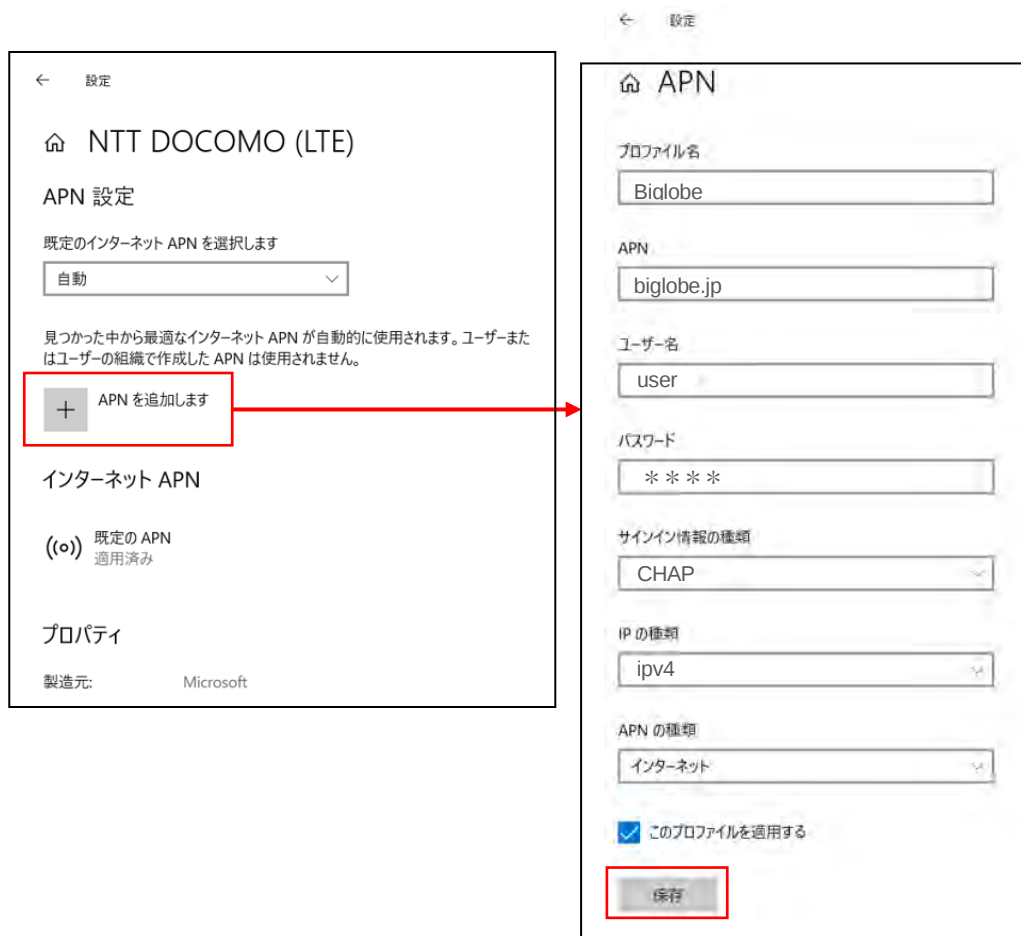


3-4-2. APN の手動設定

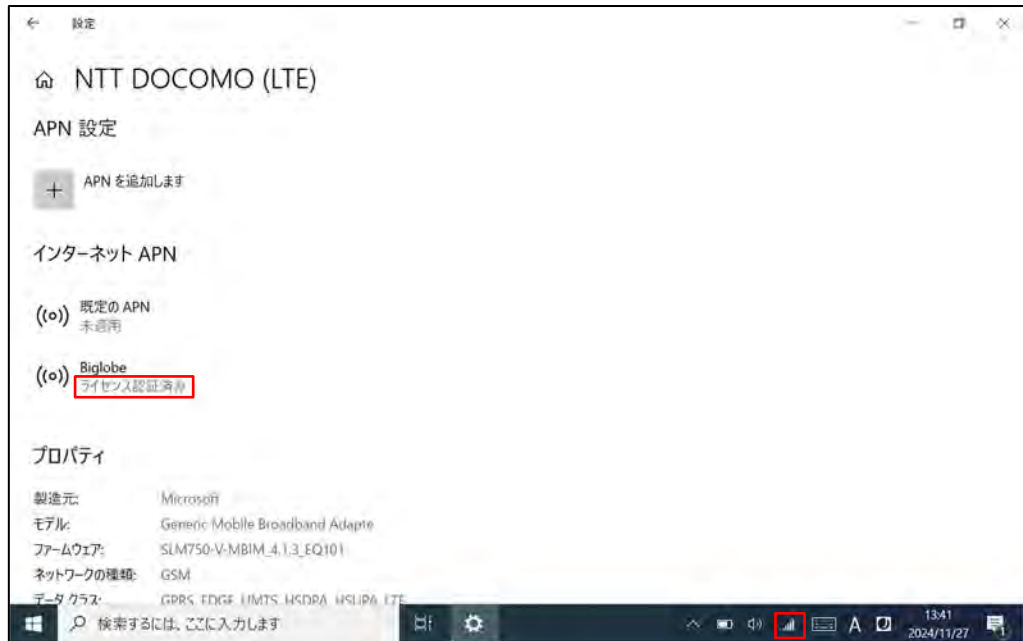
1. Windows の設定の「ネットワークと設定」-「携帯電話」-「詳細オプション」を開きます。



2. [APN を追加します]をクリックして APN 設定画面を開き、キャリアから提供されている APN 情報を入力し「保存」をクリックします。



3. APN が「ライセンス承認済み」になっていることと、アンテナが立っていれば接続完了です。



3-4-3. 注意事項

- ・SIM カードを認識するまでに数分間かかる場合がございます。
- ・SIM カードを認識しない場合、下記設定が「SIM1」になっていることをご確認ください。



第 4 章 アクセサリーと電源



4-1. 梱包の確認

パッケージを開けて、すべての部品に不足や損傷がないかご確認ください。
主要なコンポーネントは以下のとおりです。RTC-I116-JP 本体、AC アダプタ、ハンドストラップ、DL 手順書

1	RTC-I116-JP 本体	
2	電源コード (USB Type-C ケーブル)	
3	AC アダプタ 65W	

4-2. 電源接続

最初にご利用の前に満充電することを推奨いたします。

1. 左側面 USB Type-C ポートの防水カバーを開けます。



2. ACアダプタのType-CポートとタブレットのUSB Type-C充電ポート間を付属の電源コードを差し込みます。

3. 電源コンセントへ AC アダプタを挿入してタブレットに電力が供給され充電します。



第 5 章 バッテリーの説明と接続



5. バッテリーの説明

タブレットは、外部の Type-C 電源でも内部のバッテリーパックでも稼働させることができます。本章では、電源を効果的に使用および管理する方法について説明します。最適なバッテリー性能を得るには、バッテリー使用上の注意事項に従う必要があります。

5-1. AC アダプタ

注意:

- ・電源アダプタは、RTC-I116-JP タブレット専用です。他の目的で使用すると、付属機器やアダプタに損傷を与える可能性があります。
- ・電源ケーブルは、付属の電源アダプタの仕様を満たしています。このタブレットを海外で使用する場合は、適切な電源コードについて販売店にご相談ください。
- ・プラグを抜くときは、コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
- ・タブレットは直流で動作しますが、電源コンセントは通常交流電力を提供します。AC アダプタの役割は、電源からの交流電力をタブレットに必要な直流に変換することです。AC アダプタに接続している間、バッテリーは自動的に充電され、アダプタは 100V から 240V の交流電圧範囲で動作することができます。

5-2. バッテリーパック

バッテリーパックはタブレットの内部電源であり、AC アダプタを介して充電することができます。

注意: バッテリーパックを取り外すのは、バッテリーが充電されていないときだけにしてください。

5-2-1. バッテリーの充電

注意: バッテリーの充電可能温度は 0℃から 50℃の間です。

AC アダプタをタブレットに接続し、AC アダプタをコンセントに差し込んでバッテリーを充電します。このとき、タブレットのインジケータが赤く点灯し、充電中であることを示します。バッテリーが完全に充電されると、インジケータが緑色に変わります。

インジケータが点滅(バッテリー残量が低下)したときは、アダプタを接続し、タブレットをスリープモードにするか、タブレットの電源を直ちにオフにしてください。

注意: バッテリーが損傷する可能性があるため、バッテリーが完全に充電された後、すぐに電源アダプタを抜き差ししないでください。

5-2-2. バッテリーパックの交換

注意:

- バッテリー交換の誤りは故障を引き起こす恐れがあります。バッテリーを交換する際は、必ず純正のオリジナルバッテリーを使用してください。
- リチウムイオン電池は、自治体によって処分方法が異なりますので、古いバッテリーパックを廃棄する際は、お住まいの地域のルールに従って処分してください。
- バッテリーパックを分解しないでください。
- バッテリーパックは長時間の使用で熱くなります。熱くなったバッテリーパックに素手で触れないでください。バッテリーパックを取り外した後は、通気の良い場所に置いてください。
- バッテリーを交換する際は、データの損失を防ぐために、必ずタブレットの電源をオフにしてください。

1. タブレットの底面が上を向くように、慎重にひっくり返してください。



2. 2 個のバッテリーパック ラッチをロック解除位置(🔓)まで押してください。



3. バッテリーパックを取り外します。



4. バッテリーパックの取り付け

最初にバッテリーパックの前面をバッテリー コンパートメントに傾け、次にバッテリーパック全体を押すと、バッテリー ラッチがロックされた状態に戻ります。



第 6 章 製品のメンテナンス



6-1. タブレットの保護

タブレットのデータの完全性とタブレット自体のセキュリティを保護するために、本セクションで説明するいくつかの方法でタブレットを保護することができます。

●ウイルス対策を行う

- タブレットを保護するために、ウイルス対策ソフトウェアをインストールできます。

6-2. 正しくお使いいただくために

6-2-1. 環境基準

- 最適な性能を確保するために、タブレットは推奨される温度範囲である 0℃ から 40℃ で使用してください。（実際の動作温度は製品仕様に依存します。）
- タブレットを使用する際は、湿気、極端な温度、振動、直射日光、およびほこりの多い場所を避けてください。
- タブレットを極端な環境で長期間使用すると、製品の劣化や製品寿命の短縮につながる可能性があります。
- 金属粉が存在する環境ではなるべく操作しないでください。
- タブレットは安定したしっかりした表面に置いてください。タブレットを側面に立てたり逆さにしたりして保管しないでください。落下や衝撃による仕様値を超える強い衝撃は、タブレットを損傷する可能性があります。
- タブレットの通気口を覆ったり塞いだりしないでください。例えば、ベッド、ソファ、ラグなどの表面にタブレットを置かないでください。過熱によってタブレットが損傷する可能性があります。
- タブレットは動作中に高温になります。熱で損傷しやすい物からタブレットを遠ざけてください。
- タブレットは、テレビ、冷蔵庫、モーター、大型スピーカなど強い磁場を発生する電化製品から少なくとも 13cm 以上離して設置してください。
- タブレットを寒い場所から暖かい場所にすぐに移動しないでください。2 か所の温度差が 10℃ 以上あると、タブレット内部で結露し、内部部品が損傷する可能性があります。

6-2-2. 一般基準

- 液晶画面を損傷しないよう、重い物を置かないでください。
- 液晶画面を損傷から保護するため、鋭利な物で画面に触れないでください。
- 液晶画面に固定画像を長時間表示させると、残像が発生する可能性があります。画面が静止したコンテンツを表示する時間を制限することで、この問題を回避できます。スクリーンセーバーを使用するか、使用していないときは画面をオフにすることをお勧めします。
- 液晶画面のバックライトの寿命を延ばすには、電源管理から自動バックライトをオフにしてください。

6-2-3. 清掃基準

- タブレットの起動プロセス中にタブレットを清掃しないでください。
- 本体の外側を清掃する際は、水またはアルコールフリーの洗剤で湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- 画面を清掃する際は、ゴミが付いていない柔らかい布で拭いてください。
- タブレットが水や他の液体で濡れた場合、可能な限り早く乾燥させてください。タブレットは防水ですが、拭き取ることができる間に濡れたままにしておくのは適切ではありません。
- 0℃で濡れたタブレットは水分が凍結する可能性があります。濡れたタブレットは必ず乾燥させてください。

6-2-4. バッテリー基準

- バッテリーは消耗品であるため、以下のような条件で寿命が短くなります。
 - バッテリーを頻繁に充電する
 - 高温環境でバッテリーを使用、充電、または保管する

- バッテリーの劣化を早めず、寿命を延ばすために、充電回数を最小限に抑え、内部温度が頻繁に上昇しないようにしてください。
- バッテリーの充電の際、周囲温度が高いとバッテリーの温度が上昇します。閉じた車内や高温の気候条件での充電は避けてください。
- タブレットの電源をオフにした状態でバッテリーを充電することをお勧めします。
バッテリーを保管するために取り外す必要がある場合は、バッテリーの効率を維持するために、残量が 30%から 40%のときにタブレットから取り外し、涼しく暗い場所に保管してください。
- バッテリーを取り付ける際または取り外す際は、以下の点に注意してください：
 - － バッテリー端子に触れないでください。損傷を引き起こし、バッテリーやタブレットが正常に動作しなくなる可能性があります。
- 非常に低温でバッテリーの電力を使用すると、動作時間が短くなったり、電力表示値が不正確になることがあります。これはバッテリーの化学特性によるものです。
- バッテリーを充電せずに 6 ヶ月以上保管しないでください。

6-2-5. タッチスクリーン基準

- タッチスクリーンを操作する際は、指またはタッチスクリーンペンを使用してください。鋭利な物や金属製の物を使用すると、ディスプレイが傷つき、損傷し、エラーが発生する可能性があります。
- ディスプレイのほこりを拭き取るには、柔らかい布を使用してください。タッチスクリーンの表面には、ほこりが吸着するのを防ぐための特別な保護層があります。柔らかい布を使用しないと、タッチスクリーンの表面の特別な保護層が損傷する可能性があります。
- ディスプレイを清掃する前にパネルの電源をオフにしてください。電源が入っている状態でディスプレイを清掃すると、異常動作を引き起こす可能性があります。
- 低温および高温の条件下では、タッチスクリーンの反応速度が遅くなったり、タッチ位置がずれることがあります。室温に達すると、正常に戻ります。

第 7 章 故障と保証



7-1. 故障

タブレットの故障症状には、一般的に次のようなものがあります。

バッテリーが切れやすい／動作が遅い／タッチ反応が鈍い／OS やアプリのインストールやアップデートができない／液晶画面の破損／本体が高温になる 等。

このような症状が発生した場合、下記の動作をお試しいただくと症状が改善される場合があります。

- 本体や液晶画面を乾いた布で拭き汚れを落とす。
- タブレットを冷ます。
- タブレットの電源を入れる前に、周辺機器の電源を入れてください。
- ソフトウェアやアプリをアップデートする。
- 不要な常駐アプリを削除する。
- バッテリーを充電する。

尚、Windows から再起動/シャットダウンの操作ができない場合は、電源ボタンを 5 秒以上押し続けてタブレットを強制的にオフにします。その後、再度電源を入れてください。

問題が解決しない場合は、実際の状況を観察してください。画面に情報が表示されていますか？ ランプはどのように点灯していますか？ ご購入元の販売店にご相談ください。尚、その際には機種名/シリアル番号/問題の詳細(画面に表示された情報やランプの点灯/点滅状態)をお伝えください。

7-2. 保証およびアフターサービス

7-2-1. 保証期限

本製品の保証期間は、納入日より 1 ヶ年とさせていただきます。

7-2-2. 保証範囲

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行ないます。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は保証対象から除外させていただきます。

- 1) 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 2) 故障の原因が納入者以外の事由の場合
- 3) 需要者側で改造・修理を行った場合
- 4) 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、本製品の運用の結果生じた損失・損害については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

7-2-3. 修理

修理は全てセンドバック方式で行ないます。現地での出張修理などは行ないません。また送料は双方の負担(元払い)とさせていただきます。

尚、年間保守契約が必要な場合は別途ご購入元の販売店にご相談ください。

故障が発生した場合は、機種名/シリアル番号/問題の詳細を添えて、ご購入元の販売店にご連絡ください。

修理品を発送する前にデータは、必ずバックアップを取ってください。修理内容によってタブレットが初期状態になる場合がございます。

アイメックス 株式会社

RTC-I116-JP 取扱説明書

2025 年 8 月 29 日 第3版発行

Copyright©2025 AIMEX Corporation.